

被災された皆様へ心からのお見舞いを申し上げます

一日も早い復興を祈念致しております

東日本大震災に関する支援事例の報告（東段工）

～仮設住宅へ入居・移動に際し必要な「段ボール箱」を提供しました～

平成 23 年 6 月 東段工事務局

この度の大震災に関する東段工組合員企業の支援事例については、既にいくつか部分的に報告していますが、以下の追加報告を致します。

(要旨) 各地で仮設住宅への入居が始まる中、この度、**福島県檜葉町(ならはちょう)災害対策本部**から入居・移動に際し必要な段ボール箱に関する緊急支援要請が届きました。東段工組合員企業「**ダイナパック株式会社**」に引き受けて頂きました。

1. 大震災発生以来、段ボール業界(被害を受けた企業を含む)は、業界組織、企業グループ、個別企業等が、それぞれの立場からそれぞれのルートを通じて様々な支援活動(義援金、救援物資、段ボール・パーティション、同簡易ベッド等の提供)を実施しています。

被災地の皆様は、甚大な被害と影響を受けられ困難な生活が続いていますが、ようやく各地で避難所等から仮設住宅への入居・移動が始まりました。

これに伴い、新たな支援要請(移転用段ボール箱)がありましたのでご報告を致します。

2. 具体的には、福島県檜葉町災害対策本部から、仮設住宅の第1期分250戸の完成に伴い、被災者が移転・移動する際必要な段ボール箱(1,000個)について、東段工に対し、緊急支援要請をしてきました。

東段工組合員企業「**ダイナパック株式会社**」にこの要請を引き受けて頂きました。

さっそく同社は福島事業所において必要数量の段ボール箱を生産し同町災害対策本部に提供しました。同社の迅速な対応に対し、同町は心から感謝しています。

3. (ご参考) 福島県檜葉町の被災状況等について

福島県檜葉町は、福島県の太平洋側、福島第二原発南側に広がる人口約7,000人の町ですが、東日本大震災においては、大津波による人的・物的な大被害が発生しました。また原発事故により4月22日以降は避難区域として設定されました。このため住民は、会津美里町、いわき市等に避難しています。檜葉町役場も、内陸の会津美里町に移り、そこに災害対策本部が設置されています。

(檜葉町のほぼ全域が、福島第一原発から半径20キロ圏内、及び第二原発から半径8キロ圏内の「避難区域」に入っています)

(以上)